

決算補足説明資料 2011年度 決算

2012年5月8日
田辺三菱製薬株式会社
証券コード: 4508



本資料に関するお問い合わせ
広報部 TEL 06-6205-5211
FAX 06-6205-5105

目次

1	2011年度 決算の概要	
	1. 2011年度 業績サマリー 2. 2012年度 業績予想サマリー 3. 配当金	2
2	2011年度 連結決算について	
	1. 損益状況	3
	① 損益実績 ② 事業別売上高 ③ 売上原価／販売費及び一般管理費	3
	④ 営業外損益 ⑤ 特別損益 ⑥ 法人税等	4
	⑦ 主要製品売上高	5
	2. 財務状況	6
	① 資産・負債・純資産の状況	6
	② キャッシュ・フロー計算書	7
	③ 設備投資／情報システム開発投資 ④ 減価償却費	8
	3. 主要連結子会社の財務数値・従業員数	8
3	2012年度 業績予想について	
	① 損益予想 ② 事業別売上高予想 ③ 売上原価／販売費及び一般管理費予想	9
	④ 主要製品売上高予想	10
	⑤ 設備投資／情報システム開発投資予想 ⑥ 減価償却費予想	11
4	5か年連結財務数値	
	① 損益計算書 ② 貸借対照表 ③ その他財務数値 ④ 従業員数	12
5	四半期業績の推移	
	① 損益計算書	13
	② 主要製品売上高	14
6	新製品開発状況について(2012年5月8日現在)	
	1. 国内開発状況	15
	① 新規化合物 ② 効能追加	15
	2. 海外開発状況	16
	① 新規化合物	16
	3. 導出品の開発状況	17
	4. 2011年度第3四半期決算発表時点(2012年1月31日)からの変更点	18
	① 自社開発品 ② 導出品	18
	5. 新製品開発状況補足資料(2012年5月8日現在)	19
	① 国内 新規化合物	19
	② 国内 効能追加	20
	③ 海外 新規化合物	21
	④ 導出品	22
7	その他	
	1. 関係会社	23
	① 関係会社数 ② 連結子会社一覧 ③ 持分法適用非連結子会社一覧	
	④ 持分法適用関連会社一覧	23
	2. 株式の状況	24
	① 発行済株式数 ② 大株主の状況 ③ 所有者別株式数分布状況	
	④ 配当金／株価推移	24
参考	主要医療用医薬品の解説／ニュースリリース	25

1 2011年度 決算の概要

(億円未満切捨て)

1. 2011年度 業績サマリー

売上高	4,071 億円	前期比	△ 23 億円	△ 0.6 %
○医薬品事業	3,975 億円	前期比	△ 26 億円	△ 0.7 %
○その他	95 億円	前期比	2 億円	3.1 %

医薬品事業は、前期比0.7%、26億円減収の3,975億円となりました。

国内医療用医薬品では、抗ヒトTNF α モノクローナル抗体製剤「レミケード」、選択的 β 1遮断剤「メインテート」などが引き続き順調に推移し、C型慢性肝炎治療薬「テラビック」をはじめとする新製品も徐々に寄与してきましたが、ジェネリック医薬品の影響拡大や前期末の一時的な受注増の反動などの減収要因が上回り、1.7%、62億円の減収となりました。

海外医療用医薬品は13.4%、一般用医薬品も0.6%の減収となりました。

医薬品その他は、ノバルティスに導出した多発性硬化症治療剤「ジレニア」のロイヤリティ収入などにより54.5%、64億円の増収となりました。

また、その他では、化成品の増収などにより3.1%、2億円増収の95億円となりました。

◎各事業の主たる製品及び役務の内容

医薬品事業：医療用医薬品、一般用医薬品

その他：化成品、不動産賃貸業、情報サービス、宣伝製作物等

営業利益	690 億円	前期比	△ 75 億円	△ 9.8 %
------	--------	-----	---------	---------

売上高は23億円の減収となりましたが、為替影響やロイヤリティ収入の増加などにより、売上原価率が前期比0.3ポイント改善し、売上総利益は前期並みの2,548億円となりました。

販売費及び一般管理費は、導入一時金の発生等により研究開発費が増加したことに加えて、新薬上市に伴う販売経費の増加もあり、4.2%、74億円増加し、1,858億円となりました。なお、研究開発費は6.8%、44億円増加し702億円となっております。

経常利益	687 億円	前期比	△ 79 億円	△ 10.3 %
------	--------	-----	---------	----------

当期純利益	390 億円	前期比	12 億円	3.4 %
-------	--------	-----	-------	-------

固定資産売却益など特別利益が11億円発生しました。

減損損失33億円、投資有価証券評価損21億円など61億円の特別損失が発生しました。なお、前期には、投資有価証券評価損80億円、東日本大震災に伴う災害損失21億円、減損損失8億円など132億円の特別損失を計上していたため、特別利益は76億円改善しております。

2. 2012年度 業績予想サマリー

売上高	4,290 億円	前期比	218 億円	5.4 %
営業利益	700 億円	前期比	9 億円	1.4 %
経常利益	700 億円	前期比	12 億円	1.8 %
当期純利益	405 億円	前期比	14 億円	3.8 %

3. 配当金

	2012年度予想		2011年度	
	上期末	年間	上期末	年間
1株当たり配当金(円)	20	40	15	35
配当性向	44.4%		40.0%	

(注) 配当性向は、当期純利益からのれん償却額を除いた利益と年間配当金から算出しております。

1. 損益状況

① 損益実績

(単位:億円)

	2011年度	前期比較			予想比較		
		2010年度	増減額	増減率%	予想(注1)	増減額	増減率%
売上高	4,071	4,095	△ 23	△ 0.6	4,050	21	0.5
売上原価	1,522	1,545	△ 22	△ 1.5	1,500	22	1.5
売上原価率	37.4%	37.7%			37.0%		
売上総利益	2,548	2,549	△ 1	0.0	2,550	△ 1	△ 0.1
販管費	1,858	1,783	74	4.2	1,870	△ 11	△ 0.6
販管費比率	45.6%	43.6%			46.2%		
営業利益	690	765	△ 75	△ 9.8	680	10	1.5
経常利益	687	766	△ 79	△ 10.3	680	7	1.1
特別利益	11	6	5	-	-	11	-
特別損失	61	132	△ 70	-	45	16	36.4
当期純利益	390	377	12	3.4	375	15	4.0

② 事業別売上高

(単位:億円)

	2011年度	前期比較			予想比較			主なポイント(前期比較)
		2010年度	増減額	増減率%	予想(注1)	増減額	増減率%	
医薬品事業	3,975	4,002	△ 26	△ 0.7	3,955	20	0.5	国内医療用医薬品 △62億円 海外医療用医薬品 △28億円 製造受託品 △7億円 技術導入契約金等 +71億円 詳細は5ページ、主要製品売上高を参照
構成比	97.6%	97.7%			97.7%			
国内	3,718	3,768	△ 49	△ 1.3	3,710	8	0.2	
海外	256	233	23	9.9	245	11	4.9	
その他	95	93	2	3.1	95	0	1.0	
構成比	2.4%	2.3%			2.3%			
国内	69	69	0	0.7	70	0	△ 0.5	
海外	26	23	2	10.0	25	1	5.4	
売上高合計	4,071	4,095	△ 23	△ 0.6	4,050	21	0.5	海外売上高比率 2010年度:6.3% 2011年度:7.0% 平均為替レート 2010年度:1US\$ = 87.32円 2011年度:1US\$ = 79.63円
構成比	100.0%	100.0%			100.0%			
国内	3,788	3,837	△ 49	△ 1.3	3,780	8	0.2	
海外	283	257	25	9.9	270	13	4.9	

③ 売上原価/販売費及び一般管理費

(単位:億円)

	2011年度	前期比較			予想比較			主なポイント(前期比較)
		2010年度	増減額	増減率%	予想(注1)	増減額	増減率%	
売上原価	1,522	1,545	△ 22	△ 1.5	1,500	22	1.5	円高による輸入原料の仕入原価低下、ロイヤリティ収入の増加などにより売上原価率が改善
比率	37.4%	37.7%			37.0%			
販管費	1,858	1,783	74	4.2	1,870	△ 11	△ 0.6	国内後期開発品の開発進展による増加、導入契約一時金の増加など
比率	45.6%	43.6%			46.2%			
研究開発費	702	657	44	6.8	690	12	1.8	
比率	17.3%	16.1%			17.0%			
研究開発費以外	1,155	1,126	29	2.6	1,180	△ 24	△ 2.0	
人件費	519	525	△ 5	△ 1.1	515	4	0.9	
のれん償却額(注2)	101	101	0	△ 0.2	100	1	1.3	
その他	534	499	35	7.1	565	△ 30	△ 5.3	震災影響による減少分を上回る販売経費の増加
総人件費	887	886	1	0.2	890	△ 2	△ 0.2	

(注1) 2011年7月29日 2011年度第1四半期決算発表時に公表した予想数値

(注2) 合併に係るのれん1,505億円を15年償却

④ 営業外損益

(単位:億円)

	2011年度	2010年度	増減額	主なポイント
営業外収益	34	34	0	
受取利息	15	15	0	
受取配当金	7	7	0	
持分法による投資利益	1	2	0	
その他	9	8	1	
営業外費用	37	33	3	
為替差損	15	14	0	
固定資産除却損	4	4	0	
寄付金	3	3	0	
その他	14	11	2	

⑤ 特別損益

(単位:億円)

	2011年度	2010年度	増減額	主なポイント
特別利益	11	6	5	
固定資産売却益	7	3	4	
災害損失引当金戻入額	4	-	4	
過年度特許実施料戻入額	-	1	△1	
投資有価証券売却益	-	1	△1	
特別損失	61	132	△70	
減損損失	33	8	25	三番町ビル(東京)ほか
投資有価証券評価損	21	80	△58	
特別退職金	1	4	△3	
災害による損失	1	21	△20	前期)東日本大震災関連
事業休止関連損失	-	7	△7	前期)ドウェイ事業休止関連
固定資産売却損	-	3	△3	
構造改革費用	-	1	△1	
その他	3	5	△1	

⑥ 法人税等

(単位:億円)

	2011年度	2010年度	増減額	主なポイント
税金等調整前当期純利益	637	641	△3	2011年度 40.6% 2010年度 40.6%
法人税、住民税 及び事業税	200	269	△69	法定実効税率調整) 交際費等永久に損金に算入されない項目 2.8% 2.7% 受取配当金等永久に益金に算入されない項目 △1.9% △2.0% 住民税均等割 0.2% 0.2% 試験研究費の特別控除 △9.2% △7.7% のれん償却額 6.4% 6.3% 受取配当金連結消去に伴う影響額 1.6% 1.7% 評価性引当額の増減 △0.2% 0.1% 税率変更による期末繰延税金資産の修正 △1.3% - その他 △0.5% △0.6%
法人税等調整額	44	△4	49	税効果会計適用後の法人税等の負担率 38.5% 41.3%
少数株主損益	2	△1	3	
当期純利益	390	377	12	

⑦ 主要製品売上高

(単位:億円)

	2011年度	前期比較			予想比較		
		2010年度	増減額	増減率%	予想(注1)	増減額	増減率%
医療用医薬品	3,921	3,947	△ 26	△ 0.7	3,905	16	0.4
国内医療用医薬品	3,554	3,616	△ 62	△ 1.7	3,580	△ 25	△ 0.7
レミケード	663	604	59	9.8	664	△ 1	△ 0.2
ラジカット	224	287	△ 62	△ 21.6	237	△ 12	△ 5.2
セレジスト	180	180	0	△ 0.4	181	△ 1	△ 0.9
アンブラーグ	152	164	△ 11	△ 7.2	150	2	1.5
タリオン	133	134	0	△ 0.6	145	△ 11	△ 8.2
ウルソ	144	153	△ 8	△ 5.8	142	2	1.7
メインテート	136	123	13	11.3	134	2	1.5
クレメジン(注2)	116	-	116	-	122	△ 5	△ 4.5
デバス	109	114	△ 4	△ 3.8	108	1	1.3
ヴェノグロブリンH	106	96	10	11.1	102	4	4.5
ヘルベッサー	86	96	△ 9	△ 10.2	86	0	△ 0.2
タナトリル	83	96	△ 13	△ 13.7	82	1	1.6
リプル	62	73	△ 10	△ 15.0	61	0	0.8
サアミオン	55	63	△ 8	△ 13.4	54	0	0.6
ノイアート	53	55	△ 2	△ 4.0	51	2	4.0
オメプラゾン	43	48	△ 5	△ 12.0	40	2	5.1
ワクチン	288	296	△ 8	△ 2.8	295	△ 7	△ 2.7
内、ミールビック	95	122	△ 27	△ 22.3	100	△ 4	△ 4.7
内、ジェービックV	71	69	1	2.9	85	△ 14	△ 16.5
内、インフルエンザ	90	71	18	26.6	82	7	9.3
田辺製薬販売取扱品(注3)	174	140	34	24.4	173	1	0.9
海外医療用医薬品	184	213	△ 28	△ 13.4	185	0	△ 0.2
ヘルベッサー	48	46	2	4.6	46	2	5.8
アルガトロバン(ノバスタン)	30	34	△ 4	△ 11.7	28	2	8.5
タナトリル	17	18	△ 1	△ 6.5	17	0	△ 3.2
ワクチン	15	13	2	16.8	16	0	△ 2.7
製造受託品(注4)	86	93	△ 7	△ 7.6	80	6	8.4
技術導出契約金等	95	24	71	293.0	60	35	59.9
一般用医薬品	54	54	0	△ 0.6	50	4	8.0
医薬品事業合計	3,975	4,002	△ 26	△ 0.7	3,955	20	0.5

(注1) 2011年7月29日 2011年度第1四半期決算発表時に公表した予想数値

(注2) クレメジンにつきましては、2010年度は第一三共に販売を委託しており、2010年度の国内医療用医薬品売上高には同社への販売額が含まれております。なお、第一三共への販売額につきましては開示しておりません。

(注3) ジェネリック医薬品の他、田辺三菱製薬より移管した長期収載品を含んでおります。

(注4) 他社製品の製造受託品等

2. 財務状況

① 資産・負債・純資産の状況

(単位:億円)

	2011年度末	構成比%	2010年度末	増減額	主なポイント
総資産	8,199	100.0	8,187	12	
流動資産	4,196	51.2	3,915	280	
現金及び預金	154	1.9	274	△ 119	P7「② キャッシュ・フロー計算書」参照
有価証券	463	5.7	847	△ 384	国債、譲渡性預金の減少など
売上債権(注1) (売上債権回転月数)	1,272 (3.75)	15.5	1,283 (3.76)	△ 11 (△ 0.01)	
たな卸資産	861	10.5	777	84	東日本大震災による一時的な受注増(在庫減)の 反動による増加
預け金	1,307	16.0	563	744	三菱ケミカルホールディングスへの預け金 資金運用のための構成比変更による増加
繰延税金資産	93	1.1	125	△ 32	
その他	43	0.5	44	0	
固定資産	4,002	48.8	4,271	△ 268	
有形固定資産	1,039	12.7	1,135	△ 95	設備投資 +70億円、減価償却 △114億円、 三番町ビル等の減損 △33億円、除売却 △19億円
無形固定資産	1,093	13.3	1,192	△ 98	情報システム開発投資 +12億円、 のれん償却 △101億円、減価償却 △10億円
投資有価証券	1,165	14.2	1,276	△ 110	国債、社債の減少など
前払年金費用	421	5.1	404	16	
繰延税金資産	78	1.0	137	△ 58	
その他	203	2.5	125	78	長期前払費用 +69億円
負債	984	12.0	1,227	△ 243	
流動負債	695	8.5	877	△ 181	
仕入債務(注2)	288	3.5	296	△ 7	
短期借入金	21	0.3	28	△ 7	
未払金	157	1.9	203	△ 46	設備未払金の支払いによる減少など
未払法人税等	67	0.8	152	△ 84	
その他	160	2.0	196	△ 35	
固定負債	288	3.5	350	△ 61	
繰延税金負債	93	1.1	114	△ 21	
退職給付引当金	105	1.3	118	△ 12	
HIV訴訟健康管理手当等引当金	14	0.2	15	0	
スモン訴訟健康管理手当等引当金	36	0.4	38	△ 2	
HCV訴訟損失引当金	25	0.3	46	△ 21	和解金の支払いに伴う取り崩し
その他	13	0.2	17	△ 4	
純資産	7,214	88.0	6,959	255	
株主資本	7,248	88.4	7,022	226	
資本金	500	6.1	500	-	
資本剰余金	4,511	55.0	4,511	-	
利益剰余金	2,241	27.3	2,014	227	当期純利益 +390億円、配当金支払い △162億円
自己株式	△ 4	△ 0.1	△ 4	0	
その他の包括利益累計額	△ 91	△ 1.1	△ 120	28	
その他有価証券評価差額金	0	0.0	△ 27	26	
繰延ヘッジ損益	0	0.0	△ 10	11	
為替換算調整勘定	△ 91	△ 1.1	△ 82	△ 8	
少数株主持分	57	0.7	57	0	

(注1) 売上債権＝受取手形＋売掛金 (注2) 仕入債務＝支払手形(除く営業外支払手形)＋買掛金

② キャッシュ・フロー計算書

(単位:億円)

	2011年度	2010年度	増減額
現金・現金同等物期首残高	978	629	349
営業キャッシュ・フロー	372	590	△ 218
税金等調整前当期純利益	637	641	△ 3
減価償却費	124	124	0
減損損失	33	8	25
のれん償却額	101	101	0
退職給付引当金の増減額(△は減少)	△ 12	△ 12	0
前払年金費用の増減額(△は増加)	△ 16	△ 37	20
HCV訴訟損失引当金の増減額(△は減少)	△ 21	△ 60	39
災害損失引当金の増減額(△は減少)	△ 14	15	△ 30
受取利息及び受取配当金	△ 23	△ 23	0
投資有価証券評価損益(△は益)	21	80	△ 58
売上債権の増減額(△は増加)	9	△ 25	35
たな卸資産の増減額(△は増加)	△ 86	△ 47	△ 38
仕入債務の増減額(△は減少)	△ 5	24	△ 30
未払金の増減額(△は減少)	△ 21	△ 21	0
利息及び配当金の受取額	25	25	0
法人税等の支払額	△ 283	△ 222	△ 61
その他	△ 96	20	△ 117
投資キャッシュ・フロー	△ 632	△ 76	△ 555
有価証券の取得・売却等	431	257	173
定期預金の預入・払戻	93	△ 9	102
預け金の預入による支出	△ 1,107	-	△ 1,107
長期預金の預入・払戻	△ 4	0	△ 4
有形固定資産の取得・売却	△ 73	△ 70	△ 2
無形固定資産の取得による支出	△ 12	△ 7	△ 4
投資有価証券の取得・売却等	40	△ 247	288
その他	0	0	0
財務キャッシュ・フロー	△ 171	△ 154	△ 17
短期借入金の純増減額(△は減少)	△ 7	4	△ 12
長期借入金の返済による支出	-	0	0
配当金の支払額	△ 162	△ 157	△ 5
その他	△ 1	△ 1	0
現金・現金同等物に係る換算差額	△ 3	△ 11	7
現金・現金同等物の増減額(△は減少)	△ 435	348	△ 783
非連結子会社との合併に伴う現金・現金同等物の増加額	-	0	0
新規連結に伴う現金及び現金同等物の増加額	-	0	0
現金・現金同等物期末残高	543	978	△ 435

* 現金・現金同等物の期末残高と連結貸借対照表上の現金及び預金との関係(単位:億円)

	2011年度	2010年度
現金及び預金	154	274
預入期間が3ヵ月を超える定期預金	△ 24	△ 115
取得日から3ヵ月以内に償還期限が到来する有価証券	211	254
短期貸付金(注)に含まれる現金同等物	1	1
預け金に含まれる現金同等物	200	563
現金・現金同等物	543	978

(注)短期貸付金は、連結貸借対照表(6ページ)上は流動資産その他に含めております。

③ 設備投資／情報システム開発投資

(単位:億円)

	2011年度	2010年度	増減額
設備投資額／発生ベース	70	101	△ 30
システム投資額／発生ベース	12	8	3

2011年度の主な設備投資		2011年度の主なシステム開発投資	
田辺三菱製薬	32億円	田辺三菱製薬	10億円
田辺三菱製薬工場	16億円		
・鹿島工場製剤製造設備	(1億円)		
ベネシス	13億円		
・京都工場製剤製造設備	(9億円)		

④ 減価償却費

(単位:億円)

	2011年度	2010年度	増減額
有形固定資産	114	113	0
無形固定資産	10	10	0

3. 主要連結子会社の財務数値・従業員数

(単位:億円)

	会社名	ベネシス	田辺三菱製薬工場	田辺製薬販売	ミツビシ タナベ ファーマ コリア	三菱製薬 (広州)	天津田辺製薬
	決算期	3月末	3月末	3月末	12月末	12月末	12月末
売上高	2011年度	195	548	174	36	1	21
	2010年度	182	530	140	37	22	20
営業利益	2011年度	25	32	11	2	△ 9	0
	2010年度	12	46	3	5	△ 1	1
経常利益	2011年度	27	34	11	2	△ 10	0
	2010年度	13	45	3	5	△ 3	1
当期純利益	2011年度	15	18	11	1	△ 10	0
	2010年度	8	23	3	4	△ 3	1
研究開発費	2011年度	18	9	-	-	0	0
	2010年度	20	9	-	-	0	0
有形固定資産 減価償却費	2011年度	11	36	0	0	0	0
	2010年度	10	38	0	0	1	0
総資産	2011年度末	320	584	74	21	29	18
	2010年度末	299	577	66	25	38	18
純資産	2011年度末	261	393	0	15	22	13
	2010年度末	250	386	△ 10	15	32	14
従業員数	2011年度末	565	1,238	166	125	425	392
	2010年度末	575	1,219	176	125	419	333

3 2012年度 業績予想について

(億円未満切捨て)

① 損益予想

(単位:億円)

	2012年度 上期予想	2011年度 上期実績	増減額	増減率%	2012年度 通期予想	2011年度 通期実績	増減額	増減率%	主なポイント
売上高	2,030	2,003	26	1.3	4,290	4,071	218	5.4	
売上原価	765	744	20	2.8	1,650	1,522	127	8.4	
売上原価率	37.7%	37.2%			38.5%	37.4%			
売上総利益	1,265	1,259	5	0.5	2,640	2,548	91	3.6	
販管費	985	898	86	9.6	1,940	1,858	81	4.4	
販管費比率	48.5%	44.9%			45.2%	45.6%			
営業利益	280	360	△ 80	△ 22.3	700	690	9	1.4	
経常利益	280	363	△ 83	△ 23.0	700	687	12	1.8	
特別利益	-	-	-	-	-	11	△ 11	-	
特別損失	35	32	2	-	40	61	△ 21	-	
当期純利益	150	199	△ 49	△ 24.9	405	390	14	3.8	

② 事業別売上高予想

(単位:億円)

	2012年度 上期予想	2011年度 上期実績	増減額	増減率%	2012年度 通期予想	2011年度 通期実績	増減額	増減率%	主なポイント
医薬品事業	1,995	1,954	40	2.1	4,240	3,975	264	6.7	
構成比	98.3%	97.5%			98.8%	97.6%			
(国内)	1,840	1,835	4	0.2	3,880	3,718	161	4.3	
(海外)	155	118	36	30.8	360	256	103	40.1	
その他	35	49	△ 14	△ 29.2	50	95	△ 45	△ 47.9	
構成比	1.7%	2.5%			1.2%	2.4%			
(国内)	20	35	△ 15	△ 44.4	25	69	△ 44	△ 64.1	
(海外)	15	13	1	11.2	25	26	△ 1	△ 5.1	
売上高合計	2,030	2,003	26	1.3	4,290	4,071	218	5.4	海外売上高比率 2011年度:7.0% 2012年度予想:9.0%
構成比	100.0%	100.0%			100.0%	100.0%			
(国内)	1,860	1,871	△ 11	△ 0.6	3,905	3,788	116	3.1	計画為替レート 1US\$=81円
(海外)	170	131	38	28.8	385	283	101	35.9	

③ 売上原価/販売費及び一般管理費予想

(単位:億円)

	2012年度 上期予想	2011年度 上期実績	増減額	増減率%	2012年度 通期予想	2011年度 通期実績	増減額	増減率%	主なポイント
売上原価	765	744	20	2.8	1,650	1,522	127	8.4	
比率	37.7%	37.2%			38.5%	37.4%			
販管費	985	898	86	9.6	1,940	1,858	81	4.4	
比率	48.5%	44.9%			45.2%	45.6%			
研究開発費	380	335	44	13.2	720	702	17	2.5	
比率	18.7%	16.8%			16.8%	17.3%			
研究開発費以外	605	563	41	7.4	1,220	1,155	64	5.5	
人件費	260	259	0	0.3	520	519	0	0.1	
のれん償却額 (注)	50	50	0	△ 1.3	100	101	△ 1	△ 1.3	
その他	295	253	41	16.5	600	534	65	12.2	震災に伴う営業活動減の反 動による販売経費増加など
総人件費	460	444	15	3.6	910	887	22	2.5	

(注) 1,505億円を15年償却

④ 主要製品売上高予想

(単位:億円)

	2012年度 上期予想	2011年度 上期実績	増減額	増減率%	2012年度 通期予想	2011年度 通期実績	増減額	増減率%
医療用医薬品	1,965	1,925	39	2.1	4,185	3,921	263	6.7
国内医療用医薬品	1,775	1,756	18	1.0	3,750	3,554	195	5.5
レミケード	370	320	49	15.4	760	663	96	14.6
セレジスト	90	89	0	0.8	175	180	△ 5	△ 2.8
タリオン	60	53	6	12.9	165	133	31	23.7
メインテート	70	65	4	6.2	145	136	8	5.9
ラジカット	80	127	△ 47	△ 37.4	145	224	△ 79	△ 35.5
アンブラーグ	70	77	△ 7	△ 9.3	140	152	△ 12	△ 8.2
ウルソ	70	72	△ 2	△ 2.9	140	144	△ 4	△ 3.3
クレメジン	60	61	△ 1	△ 3.0	125	116	8	7.3
ヴェノグロブリンH	55	50	4	9.0	115	106	8	7.5
デパス	55	54	0	1.0	105	109	△ 4	△ 4.5
テラビック	35	-	35	-	100	14	85	572.5
ヘルベッサー	40	43	△ 3	△ 8.7	75	86	△ 11	△ 13.3
タナトリル	35	42	△ 7	△ 18.2	70	83	△ 13	△ 16.1
レクサプロ	20	4	15	356.6	60	12	47	377.7
シンボニー	20	0	19	-	55	9	45	477.1
リプル	25	31	△ 6	△ 20.2	50	62	△ 12	△ 19.4
ノイアート	25	25	0	△ 2.6	50	53	△ 3	△ 6.8
ワクチン	130	151	△ 21	△ 14.0	280	288	△ 8	△ 2.8
内、ミールビック	60	62	△ 2	△ 4.4	95	95	0	△ 0.5
内、インフルエンザ	20	23	△ 3	△ 14.4	90	90	0	△ 0.3
内、ジェービックV	35	48	△ 13	△ 28.6	65	71	△ 6	△ 9.0
田辺製薬販売取扱品(注1)	85	82	2	3.6	180	174	5	2.9
海外医療用医薬品	95	91	3	3.8	225	184	40	21.9
ヘルベッサー	25	22	2	8.8	55	48	6	12.9
アルガトロバン(ノバスタン)	10	16	△ 6	△ 39.2	25	30	△ 5	△ 18.8
タナトリル	10	8	1	14.8	20	17	2	17.2
ワクチン	10	9	0	7.3	20	15	4	26.4
製造受託品(注2)	35	47	△ 12	△ 26.8	70	86	△ 16	△ 19.3
技術導出契約金等	60	29	30	106.8	140	95	44	45.9
一般用医薬品	30	28	1	4.0	55	54	0	1.8
医薬品事業合計	1,995	1,954	40	2.1	4,240	3,975	264	6.7

(注1) ジェネリック医薬品の他、田辺三菱製薬より移管した長期収載品を含んでおります。

(注2) 他社製品の製造受託品等

⑤ 設備投資／情報システム開発投資予想

(単位:億円)

	2012年度 上期予想	2011年度 上期実績	増減額	増減率%	2012年度 通期予想	2011年度 通期実績	増減額	増減率%
設備投資額／発生ベース	68	28	40	142.1	105	70	34	49.3
システム投資額／発生ベース	11	3	7	201.5	20	12	8	70.5

2012年度の主な設備投資予定		2012年度の主なシステム投資予定	
生産関係設備	78億円	研究開発関係システム	5億円
研究開発関係設備	11億円	生産関係システム	2億円
その他	16億円	その他	13億円

⑥ 減価償却費予想

(単位:億円)

	2012年度 上期予想	2011年度 上期実績	増減額	増減率%	2012年度 通期予想	2011年度 通期実績	増減額	増減率%
有形固定資産	40	53	△ 12	△ 23.2	78	114	△ 36	△ 31.7
無形固定資産	6	5	1	20.9	12	10	2	22.0

4 5ヵ年連結財務数値

(億円未満切捨て)

① 損益計算書

(単位:億円)

	2007年度 単純合算	2008年度	2009年度	2010年度	2011年度	2012年度予想
売上高	4,094	4,147	4,047	4,095	4,071	4,290
売上原価	1,505	1,581	1,478	1,545	1,522	1,650
売上総利益	2,588	2,565	2,569	2,549	2,548	2,640
販管費	1,864	1,848	1,954	1,783	1,858	1,940
内、研究開発費	723	731	830	657	702	720
営業利益	724	716	614	765	690	700
経常利益	736	725	616	766	687	700
特別利益	19	12	0	6	11	-
特別損失	203	257	107	132	61	40
当期純利益	319	265	302	377	390	405

② 貸借対照表

(単位:億円)

	2007年度末	2008年度末	2009年度末	2010年度末	2011年度末
総資産	8,072	8,107	7,968	8,187	8,199
流動資産	3,820	3,644	3,442	3,915	4,196
固定資産	4,252	4,463	4,526	4,271	4,002
負債	1,394	1,445	1,200	1,227	984
流動負債	894	891	777	877	695
固定負債	500	553	422	350	288
純資産	6,678	6,662	6,768	6,959	7,214

③ その他財務数値

(単位:億円)

	2007年度 単純合算	2008年度	2009年度	2010年度	2011年度	2012年度予想
営業キャッシュ・フロー	464	505	239	590	372	-
投資キャッシュ・フロー	△ 89	△ 745	△ 612	△ 76	△ 632	-
財務キャッシュ・フロー	△ 90	△ 159	△ 171	△ 154	△ 171	-
設備投資額	99	121	83	101	70	105
情報システム開発投資	19	17	8	8	12	20
減価償却費	150	156	132	124	124	90
自己資本比率(%)	80.9	80.5	84.1	84.3	87.3	-
自己資本当期純利益率(ROE)(%)	4.9	4.1	4.6	5.5	5.5	-
1株当たり当期純利益(円)	50.12	47.28	53.91	67.27	69.54	72.19
1株当たり純資産(円)	1,163.96	1,162.69	1,194.79	1,230.16	1,275.85	-

④ 従業員数

(単位:人)

	2007年度末	2008年度末	2009年度末	2010年度末	2011年度末	2012年度末予想
連結	10,361	10,030	9,266	9,198	9,180	8,930
単体	6,266	5,715	5,186	4,957	4,826	4,830

5 四半期業績の推移

(億円未満切捨て)

① 損益計算書

(単位:億円)

	2010年度					2011年度					2012年度
	第1四半期 4~6月	第2四半期 7~9月	第3四半期 10~12月	第4四半期 1~3月	通期実績	第1四半期 4~6月	第2四半期 7~9月	第3四半期 10~12月	第4四半期 1~3月	通期実績	通期予想
売上高	1,087 26.6%	959 23.4%	1,148 28.0%	899 22.0%	4,095 100.0%	1,022 25.1%	981 24.1%	1,153 28.3%	914 22.5%	4,071 100.0%	4,290
国内	1,020 26.6%	889 23.2%	1,089 28.4%	838 21.8%	3,837 100.0%	957 25.3%	914 24.1%	1,080 28.5%	836 22.1%	3,788 100.0%	3,905
海外	67 26.1%	69 27.1%	59 22.9%	61 23.8%	257 100.0%	65 23.1%	66 23.5%	73 25.9%	77 27.5%	283 100.0%	385
医薬品事業	1,060 26.5%	938 23.4%	1,125 28.1%	878 22.0%	4,002 100.0%	997 25.1%	956 24.1%	1,129 28.4%	892 22.4%	3,975 100.0%	4,240
国内	1,002 26.6%	872 23.2%	1,071 28.4%	822 21.8%	3,768 100.0%	937 25.2%	898 24.2%	1,062 28.6%	820 22.1%	3,718 100.0%	3,880
海外	57 24.8%	65 28.1%	53 22.9%	56 24.2%	233 100.0%	60 23.4%	58 22.7%	66 26.0%	71 27.8%	256 100.0%	360
その他	27 29.6%	20 22.5%	23 25.3%	21 22.6%	93 100.0%	25 26.1%	24 25.4%	24 25.7%	21 22.8%	95 100.0%	50
国内	18 26.4%	16 24.0%	18 26.2%	16 23.5%	69 100.0%	19 28.3%	16 23.4%	18 26.0%	15 22.4%	69 100.0%	25
海外	9 39.0%	4 18.2%	5 22.8%	4 20.1%	23 100.0%	5 20.3%	8 30.9%	6 24.9%	6 23.9%	26 100.0%	25
売上原価	413	365	445	321	1,545	373	370	448	329	1,522	1,650
売上原価率	38.0%	38.1%	38.8%	35.7%	37.7%	36.5%	37.8%	38.9%	36.1%	37.4%	38.5%
売上総利益	674 26.5%	594 23.3%	702 27.6%	578 22.7%	2,549 100.0%	648 25.5%	610 23.9%	705 27.7%	584 22.9%	2,548 100.0%	2,640
販売費及び 一般管理費	408 22.9%	458 25.7%	415 23.3%	501 28.1%	1,783 100.0%	421 22.7%	477 25.7%	466 25.1%	493 26.6%	1,858 100.0%	1,940
研究開発費	159 24.2%	165 25.1%	151 23.0%	181 27.7%	657 100.0%	157 22.4%	178 25.4%	180 25.7%	186 26.5%	702 100.0%	720
研究開発費 以外	249 22.1%	292 26.0%	264 23.5%	319 28.4%	1,126 100.0%	264 22.9%	298 25.9%	285 24.7%	307 26.6%	1,155 100.0%	1,220
人件費	123 23.5%	134 25.6%	124 23.7%	142 27.2%	525 100.0%	126 24.3%	133 25.6%	129 24.9%	131 25.2%	519 100.0%	520
のれん 償却額	25 25.0%	25 25.0%	25 25.0%	25 25.0%	101 100.0%	25 25.0%	25 25.0%	25 25.0%	25 25.0%	101 100.0%	100
その他	100 20.1%	132 26.6%	115 23.0%	151 30.3%	499 100.0%	112 21.1%	140 26.3%	130 24.5%	150 28.2%	534 100.0%	600
営業利益	265 34.7%	135 17.7%	287 37.5%	77 10.1%	765 100.0%	227 32.9%	133 19.3%	238 34.6%	91 13.2%	690 100.0%	700
経常利益	267 34.9%	136 17.8%	289 37.7%	72 9.5%	766 100.0%	229 33.4%	133 19.5%	240 34.9%	83 12.2%	687 100.0%	700
四半期(当期) 純利益	146 38.9%	80 21.3%	165 43.9%	△ 15 △ 4.0%	377 100.0%	114 29.3%	85 21.9%	158 40.7%	31 8.1%	390 100.0%	405

(注)各項目(売上原価を除く)の下段は進捗率を表示

② 主要製品売上高

(単位: 億円)

	2010年度					2011年度					2012年度
	第1四半期 4～6月	第2四半期 7～9月	第3四半期 10～12月	第4四半期 1～3月	通期実績	第1四半期 4～6月	第2四半期 7～9月	第3四半期 10～12月	第4四半期 1～3月	通期実績	通期予想
医療用医薬品	1,047 26.5%	922 23.4%	1,109 28.1%	868 22.0%	3,947 100.0%	983 25.1%	942 24.0%	1,114 28.4%	881 22.5%	3,921 100.0%	4,185
国内医療用医薬品	960 26.6%	830 23.0%	1,035 28.6%	789 21.8%	3,616 100.0%	897 25.3%	859 24.2%	1,028 28.9%	768 21.6%	3,554 100.0%	3,750
レミケード	143 23.8%	149 24.8%	173 28.8%	137 22.7%	604 100.0%	158 23.9%	162 24.5%	189 28.5%	153 23.1%	663 100.0%	760
ラジカット	79 27.8%	62 21.9%	80 28.2%	63 22.1%	287 100.0%	67 29.9%	60 26.9%	59 26.4%	37 16.7%	224 100.0%	145
セレジスト	48 26.6%	41 23.0%	51 28.3%	39 22.0%	180 100.0%	46 25.9%	42 23.7%	51 28.4%	39 22.0%	180 100.0%	175
アンブラーグ	45 27.5%	37 22.8%	47 28.8%	34 20.9%	164 100.0%	40 26.8%	36 23.7%	44 29.4%	30 20.1%	152 100.0%	140
タリオン	26 19.8%	20 15.6%	35 26.5%	51 38.1%	134 100.0%	30 22.9%	22 16.9%	39 29.3%	41 30.9%	133 100.0%	165
ウルソ	41 26.9%	35 23.3%	42 27.8%	33 22.0%	153 100.0%	37 26.2%	34 23.6%	41 28.9%	30 21.3%	144 100.0%	140
メインテート	32 26.3%	27 22.2%	34 28.4%	28 23.1%	123 100.0%	34 24.9%	31 23.3%	40 29.6%	30 22.3%	136 100.0%	145
クレメジン(注1)	-	-	-	-	-	28 24.4%	33 28.6%	28 24.8%	25 22.1%	116 100.0%	125
デパス	30 27.0%	26 23.1%	31 27.7%	25 22.2%	114 100.0%	28 25.5%	26 24.0%	31 28.3%	24 22.2%	109 100.0%	105
ヴェノグロブリンH	23 24.9%	21 22.4%	28 29.9%	21 22.7%	96 100.0%	24 23.3%	25 23.8%	32 30.6%	23 22.2%	106 100.0%	115
ヘルベッサー	27 28.1%	21 22.6%	28 29.3%	19 20.0%	96 100.0%	23 27.0%	20 23.6%	24 28.8%	17 20.6%	86 100.0%	75
タナトリル	27 28.5%	22 23.2%	27 28.3%	19 20.0%	96 100.0%	22 27.3%	20 24.0%	23 28.6%	16 20.1%	83 100.0%	70
リブル	20 27.7%	16 23.1%	20 27.7%	15 21.5%	73 100.0%	16 26.6%	14 23.9%	17 28.1%	13 21.4%	62 100.0%	50
サアミオン	18 28.4%	15 23.5%	17 27.8%	12 20.3%	63 100.0%	15 27.2%	13 24.3%	15 28.6%	10 19.8%	55 100.0%	-
ノイアート	14 26.1%	13 23.3%	16 30.1%	11 20.5%	55 100.0%	12 23.9%	12 23.9%	16 31.6%	11 20.6%	53 100.0%	50
オメプラゾン	13 28.3%	11 22.7%	13 28.5%	10 20.5%	48 100.0%	11 26.2%	10 24.0%	12 29.8%	8 20.0%	43 100.0%	-
ワケチン	77 26.1%	73 24.8%	92 31.3%	52 17.8%	296 100.0%	70 24.4%	80 28.0%	94 32.7%	42 14.8%	288 100.0%	280
内、ミールビック	49 40.6%	25 21.1%	14 11.6%	32 26.6%	122 100.0%	41 43.6%	21 22.2%	11 12.3%	20 21.9%	95 100.0%	95
内、ジェービックV	17 25.6%	19 27.9%	16 23.9%	15 22.6%	69 100.0%	20 29.3%	28 39.3%	12 18.0%	9 13.4%	71 100.0%	65
内、インフルエンザ	0 0.0%	19 27.4%	57 80.2%	△ 5 △ 7.6%	71 100.0%	0 △ 0.1%	23 26.0%	64 71.2%	2 3.0%	90 100.0%	90
田辺製薬販売取扱品 (注2)	28 20.4%	25 18.1%	47 33.7%	39 27.9%	140 100.0%	43 24.9%	38 22.0%	52 29.8%	40 23.3%	174 100.0%	180
海外医療用医薬品	56 26.6%	56 26.4%	50 23.7%	49 23.3%	213 100.0%	46 25.3%	44 24.2%	47 25.5%	46 24.9%	184 100.0%	225
ヘルベッサー	12 25.9%	12 26.4%	10 23.4%	11 24.3%	46 100.0%	11 24.6%	10 22.5%	13 27.1%	12 25.7%	48 100.0%	55
アルガトロバン (ノバスタン)	10 29.5%	8 23.5%	8 24.3%	7 22.8%	34 100.0%	9 32.3%	6 21.1%	7 25.6%	6 21.0%	30 100.0%	25
タナトリル	5 30.0%	4 23.2%	4 27.0%	3 19.8%	18 100.0%	3 22.9%	4 28.2%	4 27.7%	3 21.3%	17 100.0%	20
ワケチン	2 18.9%	4 30.0%	2 16.5%	4 34.6%	13 100.0%	4 29.8%	4 29.1%	3 21.0%	3 20.0%	15 100.0%	20
製造受託品(注3)	26 28.6%	25 27.0%	19 20.9%	22 23.5%	93 100.0%	24 28.3%	23 26.9%	17 20.2%	21 24.6%	86 100.0%	70
技術導出契約金等	2 11.3%	10 42.5%	4 17.6%	6 28.6%	24 100.0%	14 15.0%	14 15.2%	20 21.9%	45 47.9%	95 100.0%	140
一般用医薬品	12 23.7%	15 29.1%	15 28.2%	10 19.0%	54 100.0%	14 26.4%	14 27.0%	14 27.3%	10 19.3%	54 100.0%	55
医薬品事業合計	1,060 26.5%	938 23.4%	1,125 28.1%	878 22.0%	4,002 100.0%	997 25.1%	956 24.1%	1,129 28.4%	892 22.4%	3,975 100.0%	4,240

※ 各項目の下段は進捗率を表示

(注1) クレメジンにつきましては、2010年度は第一三共に販売を委託しており、2010年度の国内医療用医薬品売上高には同社への販売額が含まれております。
なお、第一三共への販売額につきましては開示しておりません。

(注2) ジェネリック医薬品の他、田辺三菱製薬より移管した長期収載品を含んでおります。

(注3) 他社製品の製造受託品等

6 新製品開発状況について(2012年5月8日現在)

1. 国内開発状況

① 新規化合物

治験コード/製品名 (一般名)	薬剤分類 (予定適応症など)	開発段階	起源	備考
MP-513 (テネリグリブチン)	DPP4阻害剤 (2型糖尿病)	申請中 (2011年8月)	自社	
	(2型糖尿病・追加併用)	フェーズ 3		
BK-4SP	ワクチン (百日せき、ジフテリア、破傷風及び急性灰白髄炎の予防)	申請中 (2011年12月)	一般財団法人 阪大微生物病研究会	共同開発 (一般財団法人 阪大微生物病研究会)
TA-7284 (カナグリフロジン)	SGLT2阻害剤 (2型糖尿病)	フェーズ 3	自社	
MP-214 (カリプラジン)	D3/D2受容体パーシャルアゴニスト (統合失調症)	フェーズ 2	ハンガリー: ゲデオニヒター	
MP-435	C5a受容体拮抗剤 (関節リウマチ)	フェーズ 2	自社	
MT-4666	α 7nACh受容体作動剤 (アルツハイマー病)	フェーズ 1	米:エンヴィヴオ	
MT-3995	選択的ミネラルコルチコイド受容体拮抗剤 (高血圧)	フェーズ 1	自社	

② 効能追加

治験コード/製品名 (一般名)	薬剤分類 (予定適応症など)	開発段階	起源	備考
献血ヴェノグロブリンH (ポリエチレングリコール処理 人免疫グロブリン)	ヒト免疫グロブリンG (免疫グロブリンG2欠乏症)	申請中 (1997年12月)	自社	
	(全身性強皮症)	フェーズ 3		
ラジカット (エダラボン)	フリーラジカル消去剤 (筋萎縮性側索硬化症*)	フェーズ 3	自社	
メインテート (ビソプロロール)	選択的 β 1遮断剤 (慢性心房細動)	フェーズ 3	自社	
タリオン (ベボタスチン)	選択的ヒスタミンH1受容体拮抗・アレルギー性疾患治療剤 (小児アレルギー性鼻炎)	フェーズ 3	宇部興産	
テラピック (テラプレビル)	NS3-4Aプロテアーゼ阻害剤 (C型慢性肝炎(ジェノタイプ2))	フェーズ 3	米:ヴァーテックス	
レミケード (インフリキシマブ〔遺伝子組 換え〕)	抗ヒトTNF α モノクローナル抗体製剤 (特殊型ベーチェット病)	フェーズ 3	米:ヤンセン・バイオテック	
	(小児クローン病)	フェーズ 3		
コレバイン (コレスチミド(JAN))	胆汁酸分泌制御 (2型糖尿病)	フェーズ 2	自社	
	リン吸収阻害作用 (高リン血症)	フェーズ 1		

*希少疾病用医薬品指定

2. 海外開発状況

① 新規化合物

治験コード/製品名 (一般名)	薬剤分類 (予定適応症など)	地域	開発段階	起源	備考
MCI-196 (コレステラン(INN))	リン吸収阻害剤 (高リン血症)	欧州	申請中 (2011年8月)	自社	
MP-146	尿毒症毒素吸着剤 (慢性腎臓病)	米国、欧州	フェーズ 3	クレハ	
MT-2832 (ルナカルシポール)	ビタミンD誘導体 (二次性副甲状腺機能亢進症)	米国・カナダ	フェーズ 2	カナダ: サイトクロマ	
MP-513 (テネリグリブチン)	DPP4阻害剤 (2型糖尿病)	欧州	フェーズ 2	自社	
		米国	フェーズ 1		
GB-1057 (人血清アルブミン[遺伝子組 換え])	遺伝子組換えヒト血清アルブミン (安定化剤)	米国	フェーズ 1	自社	
TA-8995	OETP阻害剤 (脂質異常症)	欧州	フェーズ 1	自社	
MP-124	PARP阻害剤 (脳梗塞急性期)	米国・カナダ	フェーズ 1	自社	
MT-3995	選択的ミネラルコルチコイド受容体拮抗剤 (高血圧)	欧州	フェーズ 1	自社	
MP-157	アンジオテンシン タイプ2受容体作動剤 (高血圧)	欧州	フェーズ 1	自社	
MT-1303	スフィンゴシン1リン酸受容体機能的アンタゴニスト (多発性硬化症)	欧州	フェーズ 1	自社	
MT-7716	NOP受容体作動薬 (アルコール使用障害)	米国	フェーズ1	自社	

3. 導出品の開発状況

治験コード/製品名 (一般名)	薬剤分類 (予定適応症など)	地域	開発段階	導出先
TA-1790 (アバナフィル)	PDE5阻害剤 (勃起不全)	欧州	申請 (2012年3月)	米: ヴィーヴァス
TA-7284 (カナグリフロジン)	SGLT2阻害剤 (2型糖尿病)	米国、欧州	フェーズ 3	米: ヤンセン ファーマシューティカルズ*
	(肥満)	米国、欧州	フェーズ 2	
T-0047 (フィラテグラスト)	細胞接着阻害剤[$\alpha 4 \beta 7 / \alpha 4 \beta 1$ 阻害剤] (多発性硬化症)	欧州	フェーズ 2	英: グラクソ・スミスクライン
MKC-242	セロトニン1A受容体作動剤 (不眠症)	米国	フェーズ 2	米: メディシノバ
Y-39983	ROCK阻害剤 (緑内障)	日本	フェーズ 2	日: 千寿製薬
MT-210	セロトニン2A / シグマ2 受容体拮抗剤 (統合失調症)	欧州	フェーズ 2	仏: キレナイック
sTU-199 (テナトプラゾール)	プロトンポンプ阻害剤 (胃食道逆流症)	欧州	フェーズ 1	仏: ネグマ(シテム)
TT-138	$\beta 3$ 受容体作動剤 (頻尿/尿失禁)	米国	フェーズ 1	米: メディシノバ
TA-7906	PDE4阻害剤 (アトピー性皮膚炎)	日本	フェーズ 1	日: マルホ

*: ジョンソン・エンド・ジョンソンの医薬品事業会社

4. 2011年度第3四半期決算発表時点(2012年1月31日)からの変更点

① 自社開発品

治験コード/製品名 (一般名)	薬剤分類 (予定適応症など)	地域	前回発表時点	2012年5月8日現在
MT-3995	選択的ミネラルコルチコイド受容体拮抗剤 (高血圧)	日本	記載なし	フェーズ 1 (2012年3月)
レミケード (インフリキシマブ〔遺伝子組換え〕)	抗ヒトTNF α モノクローナル抗体製剤 (特殊型ベーチェット病)	日本	記載なし	フェーズ 3 (2012年1月)
	(小児・クローン病)	日本	記載なし	フェーズ 3 (2012年4月)
MCI-186 (エダラボン)	フリーラジカル消去剤 (脳梗塞急性期)	欧州	フェーズ 2	開発中止
MP-136	PPAR α 作動剤 (脂質異常症)	欧州	フェーズ 1	開発中止

② 導出品

治験コード/製品名 (一般名)	薬剤分類 (予定適応症など)	地域	前回発表時点	2012年5月8日現在
TA-1790 (アバナフィル)	PDE5阻害剤 (勃起不全)	欧州	記載なし	申請 (2012年3月)
		米国	申請	承認 (2012年4月)
MKC-231	神経新生促進剤 (うつ病/不安障害)	米国	フェーズ 2	契約終了

5. 新製品開発状況補足資料(2012年5月8日現在)

① 国内 新規化合物

治験コード/製品名 (一般名)	補足説明
MP-513 (テネリグリブチン)	DPP4阻害により、食事摂取後のインスリン分泌を促進し、空腹時のインスリン分泌を促進しない、2型糖尿病治療剤。2011年8月に申請。追加併用試験を実施中。
BK-4SP	百日せき菌の抗原、ジフテリアトキソイド、破傷風トキソイド、および不活化ポリオウイルスの混合ワクチン。一般財団法人阪大微生物病研究会と共同開発。2011年12月に一般財団法人阪大微生物病研究会が申請。
TA-7284 (カナグリフロジン)	SGLT2選択的阻害剤。腎臓における糖再吸収を阻害して血糖値を低下させる。2型糖尿病でフェーズ3。
MP-214 (カリプラジン)	ドバミンD3/D2受容体パーシャルアゴニスト作用を有する。ゲデオン/ヒター(ハンガリー)より導入。統合失調症を対象にフェーズ2。
MP-435	補体成分C5a受容体拮抗作用を有する経口の免疫調節剤。関節リウマチを対象にフェーズ2。
MT-4666	$\alpha 7$ ニコチン性アセチルコリン受容体(nAChR)作動剤。エンヴィヴォ(米)より導入。アルツハイマー病を対象にフェーズ1。
MT-3995	選択的ミネラルコルチコイド受容体拮抗剤。日本において、高血圧を対象にフェーズ1。

② 国内 効能追加

治験コード/製品名 (一般名)	補足説明
献血ヴェノグロブリンH (ポリエチレングリコール処理人免疫グロブリン)	(免疫グロブリンG2欠乏症)申請中。 (びまん型全身性強皮症)国内の臨床研究によって疾患の主要因である皮膚症状の改善に対してIVIGの有効性が見出され、海外においても有効性が報告されている。フェーズ 3。
ラジカット (エダラボン)	(筋萎縮性側索硬化症〔2005年6月、希少疾病用医薬品指定〕)フリーラジカル消去作用を有する。2001年に脳梗塞急性期に伴う神経症候、日常生活動作障害、機能障害の改善薬として発売。筋萎縮性側索硬化症に対する臨床試験を実施中。フェーズ 3。
メインテート (ピソプロロール)	(慢性心房細動)選択的β1アンタゴニスト作用を有する。1990年に本態性高血圧症、狭心症及び心室性期外収縮の治療剤として発売。関連学会からの開発要望を受け、2011年、慢性心不全治療剤としての適応を受けている。今回、再度、関連学会からの開発要望を受け、慢性心房細動に対する臨床試験を実施中。フェーズ 3。
タリオン (ベポタスチン)	(小児アレルギー性鼻炎)2000年に成人のアレルギー性疾患治療剤として発売。小児のアレルギー性鼻炎に対する臨床試験を実施中。フェーズ 3。
テラビック (テラプレビル)	(C型慢性肝炎(ジェノタイプ2))2011年にC型慢性肝炎治療剤として発売。ジェノタイプ2に対する臨床試験を実施中。フェーズ 3。
レミケード (インフリキシマブ〔遺伝子組換え〕)	世界初の抗ヒトTNFαモノクローナル抗体製剤。2002年にクローン病治療剤として発売。その後、関節リウマチ、ベーチェット病による難治性網膜ぶどう膜炎、乾癬、硬直性脊椎炎、潰瘍性大腸炎の治療剤としての適応も受けている。 (特殊型ベーチェット病)特殊型ベーチェット病に対する臨床試験を実施中。フェーズ 3。 (小児クローン病)小児クローン病に対する臨床試験を実施中。フェーズ 3。
コレバイン (コレステミド(JAN))	胆汁酸排泄促進剤。1999年に高コレステロール血症治療剤として発売。 (2型糖尿病)2型糖尿病に対する臨床試験を実施中。フェーズ 2。 (高リン血症)高リン血症に対する臨床試験を実施中。フェーズ 1。

③ 海外 新規化合物

治験コード/製品名 (一般名)	補足説明
MCI-196 (コレステラン(INN))	陰イオン交換樹脂。欧州で腎透析患者における高リン血症治療薬として2011年8月に申請。日本では、高コレステロール血症治療薬として製品名コレバインで販売中。
MP-146	2006年11月にクレハから導入した経口の球状吸着炭。慢性腎臓病患者を対象に欧米においてフェーズ3。日本では製品名クレメジンで1991年から三共(現、第一三共)が販売していたが、2011年4月より当社が販売を継承。
MT-2832 (ルナカルシポール)	2008年7月にサイトクローマ(カナダ)から導入。ビタミンDシグナル伝達を強力に活性化すると同時に、ビタミンDの不活性化をつかさどる酵素CYP24Iに分解されにくい新しいタイプのビタミンD誘導体。カナダにおいて慢性腎不全患者を対象に二次性副甲状腺機能亢進症でフェーズ2。
MP-513 (テネリグリプチン)	DPP4酵素阻害により、食事摂取後のインスリン分泌を促進し、空腹時のインスリン分泌を促進しない、2型糖尿病治療剤。米国でフェーズ1、欧州でフェーズ2。
GB-1057 (人血清アルブミン〔遺伝子組換え〕)	遺伝子組換えヒト血清アルブミン。米国において安定化剤でフェーズ1。
TA-8995	CETP阻害により、HDL-Cを増加させLDL-Cを低下させる脂質異常症治療剤。欧州でフェーズ1。
MP-124	PARP酵素阻害により神経細胞の傷害保護作用を示す。米国・カナダで脳梗塞急性期を対象にフェーズ1。
MT-3995	選択的ミネラルコルチコイド受容体拮抗剤。欧州において、高血圧でフェーズ1。
MP-157	アンジオテンシン タイプ2受容体作動剤。欧州において、高血圧でフェーズ1。
MT-1303	スフィンゴシン1リン酸受容体機能的拮抗剤。欧州においてイムセラの後継品として多発性硬化症でフェーズ1。
MT-7716	NOP受容体作動剤。米国においてアルコール使用障害(乱用、中毒)を対象疾患にフェーズ1。

④ 導出品

治験コード/製品名 (一般名)	補足説明
TA-1790 (アバナフィル)	即効性で、副作用の少ない勃起障害治療剤として創製。ヴィーヴァスにより米国で2011年6月に、欧州では2012年3月に申請した。米国では2012年4月に承認を取得
TA-7284 (カナグリフロジン)	SGLT2選択的阻害薬。腎臓における糖再吸収を阻害して血糖値を低下させる。ヤンセンファーマシューティカルズにより欧州・米国で2型糖尿病を対象にフェーズ 3。肥満を対象にフェーズ 2終了。
T-0047 (フィラテグラスト)	白血球が炎症部位に浸潤する過程を抑える細胞接着阻害剤。T-0047の臨床試験はグラクソ・スミスクラインによって欧州ほかでフェーズ 2。
MKC-242	セロトニン1A受容体の作動薬で、依存性が生じる可能性が低く即効性が期待される不安症やうつ病などの精神疾患治療剤。米国メディシノバで不眠症を対象にフェーズ 2。
Y-39983	血管平滑筋を弛緩させるROCK(Rho-キナーゼ)阻害作用をもつ薬剤。国内で千寿製薬によりフェーズ 2。
MT-210	セロトニン2A / シグマ2 受容体拮抗剤。クレナイック(仏)によりフェーズ 2。
sTU-199 (テナトプラゾール)	国内で開発していたTU-199の光学異性体で、ネグマ(仏)へ導出。欧米で実施されたフェーズ1試験のPK/PDにおいて、長い血中濃度半減期より1日1回投与で夜間における優れた胃酸コントロールが確認され、早期の症状改善や治癒が期待されている。子会社のシテムが胃食道逆流症を対象に、欧州でフェーズ 1。
TT-138	β 3受容体作動作用を持つ頻尿・尿失禁治療剤。米国でメディシノバによりフェーズ1。
TA-7906	PDE4阻害薬。アトピー性皮膚炎を予定適応症に、国内でマルホによりフェーズ1。

7 その他

1. 関係会社

① 関係会社数

	2011年度末	2010年度末	増減数	特記事項
連結子会社数	28	28	-	
非連結子会社数	3	3	-	
関連会社数	3	3	-	
合計	34	34	-	

② 連結子会社一覧

(2012年3月31日現在)

	会社名	資本金(百万円)	議決権所有割合 (内、間接所有分)	決算期	事業内容
1	(株)ベネシス	3,000	100.0 (—)	3月末	医薬品の製造・販売
2	田辺三菱製薬工場(株)	1,130	100.0 (—)	3月末	医薬品の製造・販売
3	ミツビシ タナベ ファーマ コリア	KRW 2,100,000,000	100.0 (—)	12月末	医薬品の製造・販売
4	三菱製薬(広州)有限公司	US\$12,000,000	100.0 (—)	12月末	医薬品の製造・販売
5	天津田辺製薬有限公司	US\$12,000,000	66.7 (—)	12月末	医薬品の製造・販売
6	吉富薬品(株)	385	100.0 (—)	3月末	医薬品の学術情報伝達
7	MPロジスティクス(株)	95	65.0 (—)	3月末	物流・倉庫業
8	(株)バイファ	7,500	51.0 (—)	3月末	医薬品の製造・販売
9	田辺製薬吉城工場(株)	400	100.0 (—)	3月末	医薬品の製造・販売
10	田辺製薬販売(株)	169	92.9 (7.9)	3月末	ジェネリック医薬品等の販売
11	(株)田辺アールアンドディー・サービス	44	100.0 (—)	3月末	医薬品の研究開発支援サービス
12	田辺総合サービス(株)	90	100.0 (—)	3月末	不動産の管理等
13	MP ヘルスケア ベンチャー マネジメント	US\$100	65.0 (—)	12月末	バイオベンチャーへの投資事業
14	ミツビシ タナベ ファーマ ホールディングス アメリカ	US\$166	100.0 (—)	12月末	米国グループ会社の経営管理
15	ミツビシ タナベ ファーマ ディベロップメント アメリカ	US\$100	100.0 (100.0)	12月末	医薬品の研究開発
16	タナベ リサーチ ラボラトリーズ U.S.A.	US\$3,000,000	100.0 (100.0)	12月末	医薬品の研究開発
17	タナベ U.S.A.	US\$1,400,000	100.0 (100.0)	12月末	化成品等の販売
18	ミツビシ タナベ ファーマ アメリカ	US\$100	100.0 (100.0)	12月末	医薬品の販売
19	三菱製薬研発(北京)有限公司	US\$1,000,000	100.0 (—)	12月末	医薬品の研究開発
20	広東田辺医薬有限公司	CNY 7,000,000	100.0 (—)	12月末	医薬品の販売
21	台湾田辺製薬股份有限公司	NT\$90,000,000	65.0 (—)	12月末	医薬品の製造・販売
22	台田薬品股份有限公司	NT\$20,000,000	65.0 (—)	12月末	医薬品の販売
23	タナベ インドネシア	US\$2,500,000	99.6 (—)	12月末	医薬品の製造・販売
24	ミツビシ ファーマ ヨーロッパ	£4,632,000	100.0 (—)	12月末	医薬品の研究開発
25	ミツビシ ファーマ ドイツ	EUR 25,000	100.0 (100.0)	12月末	医薬品の販売
26	タナベ ヨーロッパ	EUR 260,330	100.0 (—)	12月末	化成品等の販売

(注)上記以外に清算手続中の連結子会社が2社あります。

③ 持分法適用非連結子会社一覧

(2012年3月31日現在)

	会社名	資本金(百万円)	議決権所有割合 (内、間接所有分)	決算期	事業内容
1	長生堂製薬(株)	340	52.5 (—)	12月末	医薬品の製造・販売
2	ホシエヌ製薬(株)	75	34.2 (34.2)	3月末	医薬品の製造・販売

④ 持分法適用関連会社一覧

(2012年3月31日現在)

	会社名	資本金(百万円)	議決権所有割合 (内、間接所有分)	決算期	事業内容
1	(株)エービーアイ コーポレーション	4,000	47.7 (—)	3月末	医薬品原体等の製造・販売
2	サンテラボ・タナベ シミイ	EUR 1,600,000	50.0 (—)	12月末	医薬品の製造・販売

2. 株式の状況

① 発行済株式数

	2012年3月末	2011年3月末
期末発行済株式総数	561,417,916	561,417,916
期末自己株式数	423,532	353,152
期末発行済株式数	560,994,384	561,064,764
期中平均自己株式数	364,350	307,141
期中平均株式数	561,053,566	561,110,775

② 大株主の状況

順位	株主名	2012年3月末		2011年3月末		
		持株数 千株	持株比率	順位	持株数 千株	持株比率
1	三菱ケミカルホールディングス	316,320	56.34%	1	316,320	56.34%
2	日本トラスティ・サービス信託銀行	32,566	5.80%	3	17,169	3.06%
3	日本マスタートラスト信託銀行	28,150	5.01%	2	25,490	4.54%
4	日本生命保険	15,137	2.70%	4	15,875	2.83%
5	ニプロ	7,642	1.36%	5	7,642	1.36%
6	三菱東京UFJ銀行	7,254	1.29%	6	7,254	1.29%
7	ジェービー モルガン チェース バンク 385147	7,100	1.26%	8	7,100	1.26%
8	田辺三菱製薬従業員持株会	4,423	0.79%	11	4,190	0.75%
9	ゴールドマン・サックス・アンド・カンパニーレギュラー アカウント	4,297	0.77%	7	7,116	1.27%
10	東京海上日動火災保険	4,175	0.74%	9	5,218	0.93%

③ 所有者別株式数分布状況

	2012年3月末			2011年3月末		
	株主数 名	株式数 千株	構成比	株主数 名	株式数 千株	構成比
金融機関	64	106,350	18.95%	62	90,522	16.13%
外国法人等	375	82,524	14.70%	391	100,839	17.97%
個人・その他(注)	13,850	27,518	4.90%	11,460	26,104	4.65%
その他の法人	282	342,629	61.04%	284	342,679	61.05%
金融商品取引業者	57	2,285	0.41%	38	1,148	0.20%
合計	14,628	561,308	100.00%	12,235	561,293	100.00%
単元未満株式の状況	-	109	-	-	124	-

* 1単元の株式数は100株

(注) 個人・その他には、自己株式(2012年3月末423千株、2011年3月末353千株)を含んでおります。

④ 配当金/株価推移

	2007年度	2008年度	2009年度	2010年度	2011年度	2012年度予想
1株当たり年間配当金(円)	26	28	28	28	35	40
配当性向(%)	44.0	43.0	39.0	32.9	40.0	44.4
期末株価(円)	1,161	971	1,320	1,350	1,161	-
株式時価総額(億円)	6,518	5,451	7,410	7,579	6,518	-

(注) 2007年度の配当金は、田辺製薬の中間配当金(13円)と田辺三菱製薬の期末配当金(13円)を用いております。また、配当性向は田辺三菱製薬の下期の当期純利益からのれん償却額を除いた利益と期末配当金から算出しております。

2008年度以降の配当性向は、当期純利益からのれん償却額を除いた利益と年間配当金から算出しております。

参考

主要医療用医薬品の解説

レミケード	2002年5月発売	薬効	抗ヒトTNF α モノクローナル抗体製剤(関節リウマチ、クローン病、ベーチェット病による難治性網膜ぶどう膜炎、乾癬、強直性脊椎炎、潰瘍性大腸炎の治療剤)
<p>炎症性サイトカインであるTNF αをターゲットとした抗TNF α抗体で、早く強力な効果と、1回の点滴で8週間効果が持続するという点が特長である。関節リウマチ(関節の構造的損傷の防止を含む)をはじめ、クローン病、潰瘍性大腸炎、乾癬、ベーチェット病による難治性網膜ぶどう膜炎、強直性脊椎炎の効能・効果を有する。2009年7月に関節リウマチにおける用法・用量の変更が、2011年8月にクローン病における用法・用量の変更がそれぞれ承認された。2012年4月より、4回目の投与からは安全性に問題がなければ、従来の2時間よりも短い時間で点滴することが可能となった(投与量により点滴時間は異なるが、平均速度が1時間あたり5mg/kgを超えない投与速度までの短縮が可能)。 オリジン:(米)ヤンセン・バイオテック</p>			
ラジカット	2001年6月発売	薬効	フリーラジカルスカベンジャー(脳保護剤)
<p>我が国で開発された世界初の脳保護剤(フリーラジカルスカベンジャー)であり、脳梗塞急性期の患者における神経症候、日常生活動作障害、機能障害(退院時の後遺症の程度)を改善する。脳梗塞の3つの主要病型(ラクナ梗塞、アテローム血栓性脳梗塞、心原性脳塞栓症)いずれにも適応がある。発症後24時間以内に投与を開始し、投与期間は14日以内。2010年5月には点滴静注バッグを発売した。</p>			
セレジスト	2000年9月発売	薬効	脊髄小脳変性症治療剤
<p>脊髄小脳変性症における運動失調を改善する甲状腺刺激ホルモン放出ホルモン(TRH)の誘導体である。本剤が発売されるまでは注射剤のみであったが、自社技術により経口投与を世界で初めて可能にした。2009年10月に口腔内崩壊錠を発売した。</p>			
アンブラーグ	1993年10月発売	薬効	5-HT2ブロッカー(抗血小板剤)
<p>閉塞性動脈硬化症(ASO)など慢性動脈閉塞症に対する治療薬(経口抗血小板薬)である。セロトニンにより増強される血小板凝集、血管収縮、血管平滑筋細胞増殖を抑制することにより慢性動脈閉塞症に伴う潰瘍、疼痛、冷感等の虚血性諸症状を改善する。特に側副血行路の血流を改善する。</p>			
タリオン	2000年10月発売	薬効	アレルギー性疾患治療剤
<p>抗ヒスタミンH1作用の発現が早くみられ、アレルギー性鼻炎、蕁麻疹、皮膚疾患に伴うそう痒に早期から高い効果を発揮する。一方で、眠気の発現頻度が低い。2007年7月に口腔内崩壊錠を発売した。 オリジン:宇部興産</p>			
ウルソ	1962年7月発売	薬効	肝・胆・消化機能改善剤
<p>本剤の主成分ウルソデオキシコール酸(UDCA)は、古くから消化器症状の改善に用いられてきた熊胆(クマノイ)が薬効の起源であり、ヒト生体内に存在する胆汁酸の一つである。本剤は肝細胞を保護する作用を持ち、慢性肝疾患・C型慢性肝疾患における肝機能の改善、胆石の溶解等の効果を持つ。</p>			
メインテート	1990年11月発売	薬効	選択的 β 1遮断剤(高血圧症・狭心症・不整脈治療剤)
<p>世界85カ国以上で使用されている代表的なβ1遮断剤。極めて高いβ1選択性と良好な薬物動態を示し、高い有効性と安全性とともにエビデンスに基づいた心保護効果を有する。2011年5月に「慢性心不全」の効果を追加取得した。 オリジン:(スイス)メルクセロー</p>			
クレメジン	2011年4月発売	薬効	慢性腎不全用剤
<p>高純度の多孔質炭素からなる球形微粒状の経口吸着薬。慢性腎不全時の尿毒症毒素の除去により尿毒症症状の改善、腎機能低下進展抑制ならびに透析導入の遅延を図る。1991年12月に発売後、2011年4月、第一三共からの販売移管により、当社が販売を開始した。 オリジン・製造販売元:クレハ</p>			
デパス	1984年3月発売	薬効	精神安定剤
<p>国内で最も汎用されている抗不安薬。強力な抗不安作用とともに、優れた鎮静・催眠作用、筋緊張緩解作用を併せ持つため、心身症、神経症だけでなく、腰痛症、頸椎症、筋収縮性頭痛、うつ病ならびに睡眠障害にも効果が認められている。</p>			
ヴェノグロブリンH	1992年1月発売	薬効	血漿分画製剤(液状・静注用免疫グロブリン製剤)
<p>国内の献血血液を原料として製造された人免疫グロブリン製剤。重症感染症(抗生物質との併用)や川崎病の急性期などに使用される。また、2010年10月、「多発性筋炎・皮膚筋炎における筋力低下の改善(ステロイド剤が効果不十分な場合に限る)」、2011年2月、「慢性炎症性脱髄性多発根神経炎(多発性運動ニューロパチーを含む)の筋力低下の改善」、同年9月、「全身型重症筋無力症(ステロイド剤又はステロイド剤以外の免疫抑制剤が十分に奏功しない場合に限る)」の効能追加に係る承認を取得。全身型重症筋無力症の治療においては、新たな選択肢として患者さんのQOL向上に貢献できるものと期待している。</p>			

ヘルベッサー	1974年2月発売	薬効	カルシウム拮抗剤(狭心症・高血圧症治療剤)
世界で広く使用されている代表的なカルシウム拮抗剤。降圧作用に加え、心拍数を抑えて心臓の負担を減らすとともに、冠血管を拡張し冠血流量を増加させる。心臓保護効果を有する。			
タナトリン	1993年12月発売	薬効	アンジオテンシン変換選択性阻害剤(高血圧症治療剤)
確実な血圧降下作用および高い臓器保護作用を有しながら、この種の薬剤に一般的な副作用である空咳の発生頻度が少ない。2002年1月には日本で初めて1型糖尿病に伴う糖尿病性腎症への効能追加が承認された。			
リプル	1988年11月発売	薬効	プロスタグランジンE1製剤
世界初の静注用プロスタグランジンE1のDDS(ドラッグ・デリバリー・システム)製剤。血管に直接作用し拡張させることにより慢性動脈閉塞症、糖尿病における皮膚潰瘍等の末梢循環障害を改善する。DDS化によりPGE1の治療上の有用性を最大に引き出し、投与時のデメリットを最小化することに成功した。			
サアミオン	1988年6月発売	薬効	脳循環・代謝改善剤
脳循環・代謝改善作用を有する薬剤。脳梗塞後遺症の治療薬として処方されている。1998年に厚生省によって行われた再評価において、有用性が再確認されている。また、「脳卒中治療ガイドライン2009」において、脳梗塞慢性期の治療薬として推奨されている。 オリジン:(米)ファイザー			
ノイアート	1987年6月発売	薬効	血漿分画製剤(血液凝固阻止剤)
国内の献血血液を原料として製造された人アンチトロンビンⅢ製剤。人アンチトロンビンⅢを高純度に含有するDIC治療剤である。トロンピンをはじめとするセリンプロテアーゼ活性を阻害することにより強力な抗凝固作用を発揮する。			
オメプラゾン	1991年4月発売	薬効	プロトンポンプインヒビター(消化性潰瘍、胃食道逆流症治療剤)
胃酸分泌の最終過程であるプロトンポンプの働きを阻害することにより、強力かつ持続的に胃酸分泌を抑制する。世界初のプロトンポンプ・インヒビターである。胃潰瘍、十二指腸潰瘍、胃食道逆流症、ヘリコバクター・ピロリの除菌の補助に優れた効果をもつ。さらに、2007年5月に非びらん性胃食道逆流症が、8月にヘリコバクター・ピロリの除菌の補助に二次除菌療法に係る用法・用量追加が承認された。 オリジン:(英)アストラゼネカ			
ミールビック	2005年12月発売	薬効	麻しんおよび風しんの予防
麻しんと風しんの予防接種が同時に行え、接種者の負担が軽減できる乾燥弱毒生麻しん風しん混合ワクチン。麻しんおよび風しんの予防接種率の向上が期待される。 オリジン・製造販売元:一般財団法人阪大微生物病研究会			
ジェービックV	2009年6月発売	薬効	日本脳炎の予防
製造過程におけるウイルスを増殖させる宿主として、Vero細胞を使用した、乾燥細胞培養日本脳炎ワクチン。定期接種1期、2期ともに乾燥細胞培養日本脳炎ワクチンが使用可能になったことから、接種人数の増加が期待される。 オリジン・製造販売元:一般財団法人阪大微生物病研究会			
レクサプロ	2011年8月発売	薬効	選択的セロトニン再取り込み阻害剤(SSRI)
セロトニントランスポーターへの選択性が高いSSRIで、世界96の国と地域で使用されている。うつ病・うつ状態への優れた有効性と良好な忍容性が認められている。さらに、用法用量が簡便であることから抗うつ薬治療で重要な服薬アドヒアランスの向上が期待される。 オリジン:ルンドベック(デンマーク)、製造販売元:持田製薬			
シンポニー	2011年9月発売	薬効	ヒト型抗ヒトTNF α モノクローナル抗体製剤
炎症性サイトカインであるTNF α をターゲットとした抗TNF α 抗体で、簡便な4週間に1回の皮下注射投与で、長期にわたり継続する優れた有用性を有する。適応症は関節リウマチ(関節の構造的損傷の防止を含む)であり、現在ヤンセンファーマにて潰瘍性大腸炎に対する臨床試験を実施中である。 (ヤンセンファーマとの共同販売) オリジン:(米)ヤンセン・バイオテック			
テラビック	2011年11月発売	薬効	抗ウイルス剤
C型肝炎ウイルス(HCV)の複製に関与するNS3-4Aセリンプロテアーゼを阻害することにより、HCVの増殖を抑制するファースト・イン・クラスの経口C型慢性肝炎治療薬である。ジェノタイプ1のC型慢性肝炎患者に対して、本剤を含む3剤併用療法(テラビック+ペグインターフェロン+リバビリン)は、従来療法と比較し治療効果の向上や治療期間の短縮が認められた。また、従来の治療で効果の得られなかった患者さんに、新たな治療機会の提供が期待される。 オリジン:(米)ヴァーテックス			

ニュースリリース

2011年10月以降の主なニュースリリースは、下記の通りです。詳細は、ホームページ(<http://www.mt-pharma.co.jp/release/index.php>)をご覧ください。

発表日	内容
2011年 10月14日	そう痒症改善剤「TRK-820」の北米におけるライセンス契約締結について
10月17日	「中期経営計画11-15 ～New Value Creation」の策定について
11月18日	日本赤十字社と田辺三菱製薬の血漿分画事業の統合時期の延期について
11月25日	日本初、新規作用機序を持つ経口の多発性硬化症治療剤「イムセラカプセル0.5mg」新発売のお知らせ
11月25日	新しい作用機序を有するC型慢性肝炎治療薬 抗ウイルス剤「テラピック錠250mg」新発売のお知らせ
11月25日	睡眠障害治療薬「モディオダール錠100mg」効能追加の承認取得のお知らせ
11月28日	ジェネリック医薬品の新発売に関するお知らせ
12月1日	非定型抗精神病薬「ロナセン」および「ルーラン」に関するコ・プロモーション契約終了のお知らせ
2012年 1月6日	OTC医薬品(第1類医薬品)／アレルギー性鼻炎用内服薬「アレギサル 鼻炎」 新発売のお知らせ
1月16日	Hibワクチンのライセンス契約締結について
3月6日	日本における糖尿病治療への貢献をめざした戦略的提携について - 2型糖尿病治療薬「MP-513」および「TA-7284」の共同販売契約締結 -
3月7日	次世代新規ワクチンの共同研究契約締結について
3月9日	田辺三菱製薬、東京本社移転に関するお知らせ
3月21日	多発性硬化症治療剤「イムセラカプセル0.5mg」添付文書の「警告」および「重要な基本的注意」改訂に関するお知らせ
3月29日	ヒト型抗ヒトTNF α モノクローナル抗体製剤「シンボニー」台湾における販売開始に関するお知らせ
5月7日	湿疹・皮膚炎の治療薬／OTC医薬品「フルコートf」 黒木瞳さん出演の新テレビCM「しゃぼん玉篇」／全国で放映開始
5月7日	ヴィーヴァス社による米国における「TA-1790」の承認取得について
5月8日	抗ヒトTNF α モノクローナル抗体製剤「レミケード点滴静注用100」「乾癬」承認条件解除に関するお知らせ
5月8日	抗ヒトTNF α モノクローナル抗体製剤「レミケード点滴静注用100」点滴時間を短縮して投与することが可能に
5月8日	血漿分画事業に係る統合新法人「一般社団法人 日本血液製剤機構」の設立について